



3月

発行責任者
校長 初村 一郎

【校長室より】 『令和2年度 終わりにあたって』

コロナに始まりコロナに終わる令和2年度。いや、まだまだ終わる気配を感じませんが、この経験したことの無い混迷を極めた1年を今後の糧として、新年度に向けて想いを新たにしているところです。保護者、地域、関係機関の皆様には、コロナ禍で大変な中、本校の教育活動のあらゆる場面でサポートをしていただきありがとうございました。今後も先の見えない状況ではありますが、引き続き緊張感を持って、情報を精査しながら、生徒たちの活動を支援していきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

今年度の卒業生は、コロナ禍による高総体中止だけでなく、新しい入試制度の騒動にも振り回され、気の毒でなりません。卒業式も規模を縮小しての実施とはなりましたが、気持ちの整理をして立派な態度で臨んでくれた姿に心打たれました。これまで乗り越えてきた経験は、必ずや次のステージで生かされるはず。これからの活躍を期待しています。

以下、卒業式式辞の一部を転載することで、令和2年度の終わりを締めくくりたいと思っております。

これからの生き方の一つとして、「フォロワーシップ」を大切にすること。人間一人ひとりとはとても無力です。私自身も自分一人では鉛筆一本すら作ることができません。それでも、なんとかこうして社会の中を生きていくことができます。無力な人間でもそれぞれに得意な分野を持ち、小さな仕事を積み重ねることで大きな社会を円滑に動かしています。それぞれが、しっかりとした「力強い歯車」となり、世界を動かす実感を持ってほしいと思います。

もう一つ、「探求心」を持ち続けること。私たちは、時々「日食」や「月食」という天文現象に出会います。去年の6月21日にも部分日食を見ることができました。昔であれば天変地異で、偶然に支配されたものとしか説明のできなかったことが、現在では日時分秒まで正確に予測することができます。「その道の専門家」が力を結集し努力してきた結果だといえます。人は皆、何らかの役割をもって生きています。皆さんはどんな分野の専門家になるのでしょうか。これから「その道」を見つけて、信頼される確かな自分を築いてほしいと思います。

「日食」の話にもう少しこだわってみます。なぜ「日食」という現象が起きるのか。太陽、地球、月の並び方の問題だけではなく、地球から見て、なぜ、月はちょうど太陽を覆い隠すのにぴったり同じ大きさなのか。これは、月の400倍大きな太陽が、月よりちょうど400倍遠くにあるからですが、問題は、一体なぜ、そうなっているのか。そのため地上では「皆既日食」という幻想的な現象が起り、様々な物語が生まれています。その答えは、今のところ「たまたま」としか言いようがなく、途上の段階にあります。

大雨や台風の予測はどんどん精度を増しています。大地震の予測も、時間はかかりそうですが、今後精度を増していくものと思われます。ただし、月と太陽の見かけの大きさのように、論理で片のつかないことがあることも忘れてはいけません。こういう、はかり知れないものに対する畏敬の念と、それを味わう心のゆとりをもってほしいと思います。何事も理屈で割り切れない、なぜかこうなっている、ということがあります。しかし、そこで変に納得せず、疑問を持つこと、そして、とりあえず進んでいく中で、解明の鍵となるものを見つけ出そうと果敢に挑んでいく積極性、これを皆さんに大いに期待したいと思います。

さて、今日は皆さんの洋々たる未来を祝う日です。人類は他の動物と異なり、高度な文明を築きあげています。「ことば」や「文字」の発見はもちろんですが、その最初のきっかけとなったのが、「二本脚で立った」ことだと言われています。これは、自由に使える二本の手を持ったということに加え、頭の位置が上がり、遠くを見る目を持ったからだそうです。「遠くを見る」とは、意味の深い言葉で、「遠く」には、いいことも悪いこともあります。コロナ禍の今、私たちは、それに正面から向き合い対応していく底力が試されています。皆さんが乗り越えてきた前例のない経験は、きっとこれからの財産になるはず。そして、「パラモンブラン」や「看護実習」で培った人間力をさらに進化させ、フォロワーシップと探求心を大切にしながら、たくましく生き抜いてほしいと思います。

『卒業式』



特別表彰式

2月28日(日)に、卒業式に先立ち特別表彰式が行われました。高校3年間で学習や部活動などで顕著な活躍をした生徒が表彰されました。各種表彰の内容と表彰者は下記の通りです。

○長崎県教育委員会表彰	5組	草野青空
○長崎県高等学校体育連盟表彰	6組	峰原 舞
○体育優秀生徒表彰	6組	奥野夏美
○産業教育御下賜金記念優秀卒業生表彰	7組	中村諒香
○全国看護高等学校長協会生徒表彰	7組	渡辺花菜
○長崎県高等学校文化連盟表彰	1組	磯沖千陽
○高校生新聞社賞	5組	野口太瑤
○特別活動功労賞		
・陸上部	6組	峰原 舞
・柔道部	6組	川野魁人
・百人一首かるた部	1組	磯沖千陽
	7組	高木里菜
	5組	村井マリア

寮生卒業夕食会

2月28日に寮生卒業夕食会を開催しました。コロナウイルスの関係でセレモニーを先に行い、食事はお弁当形式で個別でという形になりました。今年度は男子9名、女子11名が巣立っていきました。卒業生は寮母さんへの感謝の気持ちや寮生活の思い出、今後の決意を語ってくれました。親元を離れ、色々大変なことも多かった寮生活だと思いますが、卒業後はこの経験がきっとを生かされると思います。卒業後のみなさんの活躍を期待しています！



令和2年度卒業生の149名が五島高校石城会に入会しました！

2月28日(日)に令和2年度卒業生の同窓会入会式を実施しました。最初に吉野榮一全国石城会会長(五高10回卒)から入会に際してのあいさつがあり、島を離れ新たな生活を始める後輩たちへ、サポーター募金(遠征費として各部3万円の補助金)の活動や母校と故郷(五島)の発展のため協力してほしいというお願いがありました。卒業生を代表して浦隆紋君が吉野会長を前に、「母校と郷土の発展に尽力していきます」と力強く入会のことばを述べました。

会員となった卒業生の皆様には、進学・就職先で最寄りの支部(東京6月、長崎7月、大阪2月)や帰省した際に五島での懇親会(8月中旬に毎年開催)へ積極的に出席し、同窓会の目的である会員の相互融和を図ってほしいと切に願っています。

3学年主任 本多優子



感謝



「次年度に向けて」

第1学年主任 谷口 享

入学後すぐに休校になり、いろいろな活動が制限された1年間でしたが、よく頑張りましたね。まだまだ努力が足りなかったという人は、学習・部活動共に、この春が1年間の遅れを取り戻すチャンスですよ。私は部活動で、毎年部員に「1年次は礼儀を、2年次は努力を、3年次は感謝を学びなさい。」と言ってきました。2年生になる君たちにはぜひ、来年度は「努力」することを学んで欲しいと思います。頑張れ！期待しています。



次年度に向けて「本物になる」

第2学年主任 原口正志

第2学年では、本物を目指してこの1年取り組んできました。コロナ禍の苦境の中、多くの活動や行事が中止・縮小されました。その中でも君たちは、今できることに謙虚に取り組み、知・徳・体のあらゆる面で大きな成長を見せてくれました。体育部・文化部の各種大会での活躍、個別性のある看護を目指して患者さんに向き合う日々、五高祭での多数のボランティア参加と作品の高いクオリティー、教室で真剣に学習に取り組む姿勢など、挙げればきりがありません。いよいよ最高学年、五島高校のリーダーとしての活躍を楽しみにしています。さあ、勝負の年です。本物になりましょう。

3年生進路結果報告

進路指導部

- ① 国公立大学合格者数（学校推薦型、総合型、一般選抜）66名
- ② 難関大合格者数2名（九州大学2名）
- ③ スポーツコース：日本文理大学、熊本学園大学、広島国際大学、清和大学等、各種学校合格
- ④ 衛生看護科：准看護師資格試験全員合格



「Move forward」というスローガンのもと、それぞれが進路実現に向けて頑張りました。早く進路が決定した生徒も、まだ決まっていないクラスメートと共に、最後まで粘り強く学習に取り組んでいました。他者を思いやる優しい生徒が多く、我々が助けてもらう場面も多い1年間でした。学習、部活動、行事など、いろいろな面で活躍してくれました。卒業生の更なる活躍に期待したいと思います。



高校入試 合格発表

おめでとうございます

高校入試が3月9日・10日（火・水）に行われ、17日（水）に合格発表を行いました。

17日は9時30分の合格発表前から受検者のみなさんが合格発表場所周辺に集まっていました。発表時には歓喜の音が響き渡りました。

前期選抜・離島留学特別選抜・後期選抜あわせて、普通科普通コース93名、普通科スポーツコース18名、衛生看護科24名のみなさんが合格しました。

合格おめでとうございます。

離任教職員の紹介

新任地での活躍をお祈りします

名前	教科等	異動先	名前	教科等	異動先
辻 俊郎	教頭	長崎東高校	松尾知大	英語	千葉県立国分台高校
本多秀典	保体	県教育委員会	末永真奈美	音楽	佐世保商業高校
石田奈美	看護	口加高校	中里江菜	地歴	福島県立いわき桜ヶ丘高校
谷口 享	数学	諫早農業高校	中 恵子	実習助手	五島南高校
渡辺洋平	数学	長崎南高校	中村静枝	実習助手	退職
堤 理恵	理科	口加高校	鎌田郁子	家庭	退職
岩元一章	保体	長崎商業高校	神崎陽子	英語	退職
飯塚貴之	国語	佐世保南高校			